

神奈川県立平塚江南高等学校における学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した

審議会名称	神奈川県立平塚江南高等学校 令和6年度 第1回学校運営協議会
開催日時	令和6年7月20日(土)
開催場所	神奈川県立平塚江南高等学校 会議室
[役職名] 出席者	<p>[委員] 穴戸 章子(会長)</p> <p>山崎 幸子</p> <p>金田 岳志</p> <p>香取 祐亮</p> <p>鈴木 奏到</p> <p>武田 恵美子</p> <p>井野 雄二(副会長、平塚江南高等学校長)</p> <p>[事務局] 岩崎 幸代(副校長)、本城 純美(教頭)、今福 聡(事務長)、</p> <p>植田 渥士(総括教諭)、島川 淳(総括教諭)、</p> <p>小坂 宏之(総括教諭)、森谷清一(総括教諭)、</p> <p>三笠 裕史(総括教諭)</p>
欠席者	齋藤 弘
	<p>開会</p> <p>1 校長あいさつ</p> <p>[井野校長]</p> <p>年度当初に職員と、生徒にとって安心・安全な学校であること。スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の二期目への取り組みを進めること。昨年、学力向上進学重点校に指定されなかったことの分析と、改善を進めることの3点を確認した。</p> <p>本協議会においては、委員の皆様から忌憚のないご意見・アドバイスをいただきたいと思っている。</p> <p>2 学校運営協議会の開催にあたって</p> <p>(1)学校運営協議会委員の委嘱</p> <p>(2)学校運営協議会及び事務局員紹介</p> <p>[穴戸委員]</p> <p>本校卒業生であり、また本校職員として勤務した。また他校ではあるが校長を経験し現在は大学に奉職している。高大連携などを含めて意見を述べるができるかと思う。</p> <p>[山崎委員]</p> <p>平塚市立江陽中学校長として3年、生徒を見送りその3年後どうなっていくかを見守っている。本校卒業生であり、本校の益々の発展を願っている。</p> <p>[鈴木委員]</p> <p>同窓会から参加させていただいている。大学進学も大事であるが、いろんなところでの人とのつながりが大切であると考えている。また、学力向上進学重点校についても同窓会として応援していこう、という話になっている。</p>

[武田委員]

本校 PTA 役員を 6 年間やらせていただいた。昨年度子供が全員卒業したので、外側から学校を見て何か協力できればと考えている。

[金田委員]

弊社事業所が市内にあり、地域に開かれた会社でありたいという方針と、また小学校の PTA 役員にも就いているのでそういった視点からも意見を述べられればと思っている。

[香取委員]

土木職として平塚市に採用され、道路整備、下水道整備に携わってきた。本年の能登の地震を受けて、水の問題が非常に重要だと改めて考えているところである。防災教育面で関わらせていただければと考えている。

[井野校長]

本校 2 年目となる。生徒の探究活動の支援に力を入れてきたが、本校では共創・探究に生徒が熱心に取り組んでおり、その他の面でも可能性を秘めた生徒たちであるということを改めて認識しているところである。

### (3)学校運営協議会について

[井野校長]

本協議会は神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則に即して運営を行い、当会は校長を通して教育委員会に意見を述べることができると定められている。学校について是非とも忌憚のないご意見をいただき、熟議をお願いしたい。

また、学校評価部会には学校運営に係る知見を持つ有識者 2 名を中心に、第三者の視点から学校運営の改善を促すということが定められている。宍戸委員と山崎委員のご両名におかれては、学校評価部会において、有識者の立場から評価を行っていただきたいと考えている。

### (4)会長及び副会長の選出

神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の第 7 条、会長、副会長に基づき、互選による選出となる。いかがか。

[井野校長]

昨年度も会長を務めていただいた宍戸先生に、今年度もお願いしたい。

<一同承認>

[宍戸委員]

了承した。

副会長は昨年度と同じく井野校長に務めていただきたい。

<一同承認>

### 3 協議（議長:宍戸会長）

#### (1)学校運営協議会の組織について

##### ア. 学校評価部会

[宍戸会長]

学校評価部会の委員について協議いただきたい。

[井野校長]

学校評価部会については、私を除く皆様に委員になっていただきたいと考える。

[宍戸会長]

委員は会長から指名となるので、ご異論なければ、そのように指名する。

<一同承認>

##### イ. 学校設置部会

[宍戸会長]

学校設置部会についてはいかがか。

[井野校長]

学校設置部会は昨年に引き続き「授業改善部会」「キャリア部会」「防災部会」の設置をお願いしたい。

[宍戸会長]

学校設置部会についてはいかがか。

<一同承認>

[宍戸会長]

各部会の構成員についてはどうか

[井野校長]

授業改善部会には宍戸会長、山崎委員、本城教頭、植田総括教諭、小板総括教諭の計5名。

キャリア部会には鈴木委員、金田委員、武田委員、岩崎副校長、島川総括教諭、森谷総括教諭の計6名。

防災部会には齋藤委員、香取委員、井野、今福事務長、三笠総括教諭の計5名を、それぞれ会長からご指名願いたい。

[宍戸会長]

井野校長よりの推薦についていかがか。ご異論なければ指名する。

<一同承認>

#### (2)令和6年度神奈川県立平塚江南高等学校の学校運営について

[宍戸会長]

次に、令和6年度神奈川県立平塚江南高等学校の学校運営について、に移る。

ア 学校の教育計画に関すること

イ 教育課程の編成に関すること

ウ 学校組織の編成に関すること

エ 学校予算の執行に関すること

オ 学校施設及び設備等の管理及び整備に関すること

まで、順に説明の後に各委員からご意見ご質問あれば発言いただきたい。

#### ア.学校の教育計画に関すること

[井野校長]

グランドデザイン、スクールミッション、スクールポリシーに関する説明。

- ・地域社会、国際貢献をしようとする人材の育成。
- ・問題発見、課題解決を探究する力、科学的・論理的思考力を深め、自らの考えを発信する力を育成するための教育課程編成。
- ・あらゆる場面で意欲的に学ぼうとする生徒の募集。

#### イ.教育課程の編成に関すること

[小板総括教諭]

教育課程編成の特徴。スクールミッション達成のため以下のような編成を実施。

- ・学校設定科目、共創・探究科の設置。
- ・理科の基礎教科をすべて1年次に設置し、理科の上位科目を2年次に設置し必修とする。
- ・類型によらない教育課程の編成。数学の科目単位数を文系理系共通化する。

#### ウ.学校組織の編成に関すること

[宍戸会長]

組織に関しては組織図を参照されたい。

#### エ.学校予算の執行に関すること

#### オ.学校施設及び設備等の管理及び整備に関すること

[今福事務長]

予算及び、施設設備等について説明申し上げる。

県費予算について、例年と大きく異なるところで、今年度は学校施設長寿命化対策工事費（約1,300万円）が付されており、いくつかの補修・修繕等の工事を計画している。

#### 協議

[鈴木委員]

- ・学力向上進学重点校の指定を逃したということを受けて、カリキュラムの編成で考慮したことはあるか。

[小板総括教諭]

- ・改善すべく様々な検討を重ねたが、週中の時間枠等の縛り、各科目の重要度を考慮すると大きな変更は困難だった。

[鈴木委員]

- ・学力向上進学重点校指定への取組は難関大学対策講座で対応するという理解でよいか。

[井野校長]

- ・生徒の実態としてその通りと理解していただいてよい。指定については5つの指標が示されており、いわゆる難関大への進学実績以外の指標もあり、それらについてはSSHでの取組と重なるところもあるゆえ、引き続き取り組んでいきたい。

[宍戸会長]

以上、ア～オについて承認いただけるか。

<一同承認>

### (3)神奈川県立平塚江南高等学校の教育活動等について

[穴戸会長]

神奈川県立平塚江南高等学校の教育活動等について報告願いたい。

#### ア.スライドによる説明

[植田総括教諭]

(スライドによる授業、行事、施設等の説明)

#### イ.各グループ担当業務に係る説明

[岩崎副校長]

グループ目標について、各担当から説明を。なお、グループ目標は5月に校長から各委員宛に案を送付し、ご意見を頂戴した上で設定したものである。

[植田総括教諭] (研究開発 G)

- ・SSH 第一期のまとめと、第二期申請へ向けた策定を進めているところであり、来年3月にお示しする予定である。

[森谷総括教諭] (生徒会 G、生徒支援 G)

- ・生徒の視野を広げることに対し、様々な学校行事を生徒主体で実施することで情報活用、問題解決等の能力を育成する。なかでも体育祭は非常に重要な位置を占めていると考えている。
- ・部活動においても、意思決定力、共感力、協働する力、リーダーシップなどを養うものと考えている。
- ・教育相談についてはサポートドックを活用し、問題を抱える生徒の早期発見、早期対応をスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと協力し実行していく。

[島川総括教諭] (進路支援 G)

- ・進路希望を最後まであきらめさせず、第一希望を達成させる指導、支援を実践する。
- ・各学年ごと「進路通信」紙を適宜発行し、生徒・保護者に最新の情報提供を行う。
- ・3年時の保護者向けには受験に係る費用面での情報提供を行う。
- ・各学年定期的に校内実力模試を実施し生徒の現在位置の把握に活用する。

[三笠総括教諭]

- ・地域との連携について、防災教育を平塚市の協力を得て、地域の方々を校内に招いた形で計画している。
- ・校地周辺の清掃活動、地域催事への参加などを通じて地域の方々との触れ合いを行っていく。
- ・情報発信につきましては、HP、X (旧 Twitter) 等の活用、各中学校への文書によるご案内等実施するが、さらに広範な広報活動については模索しているところである。

[本城教頭]

学校管理、学校運営について

- ・不祥事防止、事故防止に関しては毎月事故防止研修会を実施する。
- ・働き方改革の一環で、会議の効率化、業務内容の見直しを引き続き行っていく。
- ・令和7年度教育委員会におけるオフィス改善事業の対象校になっており、執務室、職員室の改善を行っていく。

#### (4)その他(意見交換)

[宍戸会長]

では、以上のことを踏まえて、委員の方から意見、質問を伺いたい。

[山崎委員]

- ・良い取組をたくさんしているが、中学生、小学生にその情報が届いているとは言えないと考える。より多くの小中学生に届く情報発信を期待したい。
- ・情報発信のタイミング（なるべく早く）が重要である。
- ・文化祭などの行事、成果発表等での中学校訪問など生徒の顔が見える交流はより効果的である。

[鈴木委員]

- ・自分が居住する地域では青少年指導員が高校紹介を行っていて、長年続いている。この事例を見ている、先の山崎委員の発言と同様の考えを持つ。小中学校へ江南高校の生徒が出かけて行って、関りをもつことはよい広報であり、交流でもあると思う。

[鈴木委員]

- ・データサイエンス的にデータを扱うようになって、まさに文系理系の枠は取り払わなければと考える。そこで進路選択にあたって、難関大もしくは有名大への進学だけでなく、たとえば世の中の動きに応じた新学部を設置する大学、人材を輩出している大学の情報なども生徒に伝えられるとよいのではないかと考える。
- ・親の立場からは、中等学校を視野に入れると、小学校3年生あたりから進路選択がはじまっていると聞く。情報発信についてもそのような事情を考慮したほうが良い。
- ・地域への発信という意味では、近隣に本校OBが数多くいるはずなので、そのような人脈を活かして生徒の地域催事参加なども検討してみてもどうか。

[武田委員]

- ・学校からの情報が子どもを通じて親に伝わりにくい年代であり、親も学校に関わる機会が多くないと感じている。学校の動き、先生方の考えが見えにくいと感じる。
- ・年一度の三者面談がその機会になるが、特に3年次の進路選択にあたっては経済的な事情が子どもの挑戦を阻んでいる。

[金田委員]

- ・弊社も地域に開かれた企業ということは大きな柱であり、御校と同じ課題を抱えていると考えるので、今後ともなにか力になればと考えている。

[香取委員]

- ・防災という視点からは、学校が拠点として大きな役割を果たすことは能登半島地震やその他の災害からもみなさん感じておられるところであると思う。災害時に高校生の力が必ず必要になると考えており、そのような啓発も視野に入れながら協力していくことを考えている。

[宍戸会長]

- ・学校目標については高い目標を掲げていきたい。例えば、昨年度の魅力と特色づくりアンケートの結果については、前年度を上回る目標設定をすべきであり、目標を万が一達成できなくとも、次はそこから考えればよい。
- ・学校行事や部活動を通じて様々な能力の向上を図るということは大変良いことだ。その見

取り方を考えたほうが良い。例としては行事の後でアンケートを実施するなどがあるのではないか。是非お願いしたい。

#### 4 設置部会の協議・報告

○授業改善部会:[部会長 山崎、副部会長 宍戸]

本日の運営会議資料「2、授業改善」について先生方からお話いただき、討議した。最終的には、子供たちが授業が楽しいと思ってほしい。先生方が楽しそうに授業を行い、ストレスや疲れなく、先生方がまず元気で笑顔で楽しい授業を発信していただき、それを生徒たちが外部に発信していく、そんな良い循環ができることを願っている。また、12月に公開授業があるということで、是非私たちも参加させていただきたい。

○キャリア部会:[部会長 鈴木、副部会長 武田]

キャリアということで、どこまでをターゲットにするか幅広いのではないかと、色々意見が出た。まずは今回のその学校評価の4年間の今後の目標と1年間の目標に絞ってみようかということになった。リーダーを育てるためには学校だけではなく地域やOB等がどのようなサポートができるかということを考えていきたい。諦めさせない進路指導のためには情報提供も重要で、例えば第一三共さんなど平塚にある企業やOBでグローバルな企業に勤めている人たちもいるので、そういう人たちとの接点でコミュニケーション取れるようなことができたかどうかという話をした。テーマが大きいところもあるので、引き続き議論できればと思っている。

○防災部会:[部会長 齋藤、副部会長 香取]

11月に行われる防災教室について話をした。平塚市役所から職員が被災地に派遣され、戻ってきているので、その体験を基に防災教育をしていく方向である。また、地域からの要望等を聞きながら、地域とのコミュニケーションを図っていきたい。

#### 5 事務局から

(1)今後の日程等について

- ①今年度の学校運営協議会は、年に3回を計画している。次回は12月、最終回は学校評価となるので、来年、令和7年3月を予定。
- ②江麗祭（文化祭）は令和6年11月8日（金）、9日（土）。
- ③公開研究授業は12月。

[井野校長]

長時間に渡り、色々共有いただき感謝する。最後の各部会からの報告を聞き、授業改善部会から、先生方が笑顔で元気に授業ができるようにというお話をいただいた。キャリア部会からは、地方、地元企業、あるいは同窓会から色々サポートをいただけるようなお話を聞き、学校に元気をいただける、そういうような思いで、今日のこの協議会通して感じる事ができた。

やっていただくばかりではなく、防災などで、この地域、平塚のまちに学校が何か役立てる

ことがないかということも学校としては考えていき、実施していきたい。一つひとつを形にするためにも、この学校運営協議会は非常に重要だと考えている。第2回、第3回も是非、色々ご意見いただき、学校に対するサポートをいただけるとありがたい。

閉会